

## 英語コミュニケーションⅠ 研究授業指導案

神奈川県立生田高等学校

教諭 倉内 正樹

1 日時 令和4年11月11日(金) 第2校時(10:00~10:50)

2 学級 普通科 第1学年5組(40名)

### 3 教材

Technology and Discoveries

### 4 単元の目標及び評価規準

#### (1) 目標

##### ア 知識・技能

本単元の「科学技術と発見」というテーマの下、新出となる語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。

##### イ 思考・判断・表現

「科学技術と発見」というテーマに関わるコミュニケーションを行うに際し、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

##### ウ 主体的に学習に取り組む態度

「科学技術と発見」というテーマに関わる関心・意欲を深め、主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

(2) 評価規準

ア：知識・技能	イ：思考・判断・表現	ウ：主体的に学習に取り組む態度
本単元の「科学技術と発見」というテーマの下、新出となる語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深められているとともに、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	「科学技術と発見」というテーマに関わるコミュニケーションを行うに際し、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	「科学技術と発見」というテーマに関わる関心・意欲を深められており、主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。

5 指導計画 ※全8時間

指導内容		配当時間	単元の評価方法
第1次	「科学技術と発見」というテーマと教科書本文について、オーラルイントロダクション・要約作成・新出語彙理解・内容理解・音読・意見交換等の諸活動を通し、知識の深化と技能のトレーニングを行う。	6時間	ア 小テスト ウ 提出された成果物
第2次	「科学技術と発見」というテーマの下、思考力・判断力・表現力を必要とするタスク活動に取り組む。	1時間 (本時)	イ 活動の観察
第3次	「科学技術と発見」というテーマや教科書本文について、リテリング・総括を行う。	1時間	イ 活動の観察 ウ 提出された成果物

## 6 本時の概要

科学・技術・工学の国際的な現況について、理解を深める。そして、英語を用いて国際間で協働し、科学の理論を実用化する技術・工学的プロセスを模擬的に体験できるタスク活動を行う。

## 7 本時の目標・ねらい

英語を駆使して他の生徒と対話・協力しながらタスクを成し遂げることで、英語運用能力を高めるとともに、グローバルな視野を持ちながら科学・技術・工学の発展に寄与していく精神を涵養する。

8 本時の展開（8 時間計画の 7 時間目） ○記録に残す評価、●指導に活かす評価

時間	指導過程	生徒の 学習活動	教師の活動 指導上の留意点	評価規準			評価方法
				ア 知	イ 思	ウ 態	
10 分	1. Introduction, Presentation & Pair Work	Mentimeter を利活用し、教師の Presentation に参画する。その際、自分の意見を発信したり、生徒同士で意見を交換したりしながら、テーマに関する理解を双方向的に深めていく。	Mentimeter を利活用し、「科学技術と発見」というテーマについて、双方向的な Introduction, Presentation を行う。				
5 分	2. Training	後述するタスク活動に使用する英語表現を事前に練習し、内在化を図る。	生徒に指示する。				
25 分	3. Task	英語を用いて国際間で協働し、科学の理論を実用化する技術・工学的プロセスを模擬的に体験できるタスク活動を行う。	タスク活動の説明とファシリテーションを実施する。		●		活動の観察
5 分	4. Small Writing	Mentimeter を利活用し、本時で自分が学んだことを英語で記述し提出する。	Mentimeter を利活用し、生徒の良い意見を全体に共有する。			○	提出された成果物の確認
5 分	5. Wrap Up	本タスクを振り返り、経験を再構成して学びとする。	本タスクで学んだことを説明し、総括する。				